




回答です


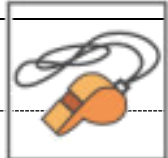

さて、あなたの準備はどれくらい？ 市民減災力をトリアージ（選別）します。

*トリアージとは、災害医療の現場において、限られた医療資源（医療スタッフ、医薬品等）を最大限活用するため、負傷者を傷病の緊急性・重傷度に応じて分類し、治療の優先順位を決定すること。

「選別」を意味するフランス語「triage」が語源。

今回はクイズを判断基準にああなたの減災力を選別（トリアージ）します。

問題	○か×	
1	×	<p>災害用の飲み水として、水道水を煮沸してからポリタンクに保存。</p> <p>■水道水には塩素が入っています。煮沸をすると塩素がなくなり腐りやすくなります。そのまま保存してください。</p>  <p>また同じ理由から浄水器を通さないほうが良いのです。</p> <ul style="list-style-type: none">・ポリタンクなどの容器はよく洗い、口いっぱいまで水道水を入れます。・空気が入らないようにして、キャップをしっかりとめます。・日付を書いて、冷暗所に保存します。・作った水は半年くらいで使い、また新しく作りましょう。
2	×	<p>地震の揺れの強さは、震度0から震度7までの8段階だ。</p> <p>■震度5、震度6についてその中で被害の大きさがずいぶん違うので弱と強に分けています。それで10段階になりました。</p> <p>ちなみに横浜市では 震度5強を市内でどこか一カ所以上観測された場合、 <u>（市内全域で）地域防災拠点が開設されます。</u></p> <p>震度6弱が区内で観測された場合、その区では 医療救護隊が編成されます。</p> 
3	×	<p>グラット来たので調理中の鍋の火を消しに台所へ駆け込んだ。</p> <p>■グラット来たら、まず身の安全が一番です。頭や体を守りましょう。 揺れている間は長くても1分程度。 揺れがおさまってから、次の行動に移ります。</p> <p>震度5程度の揺れがあると、マイコンメーターが作動し、 ガス供給が自動で遮断されます。 調理中の鍋などでやけどをすることもあります。 落ち着いて行動しましょう。</p>  <p>一口メモ：調理後は毎回、ガスレンジをロックしておくようにしましょう。 チャイルドロック機能を使います。</p>

4	✕	<p>地震発生！ とにかく非常持ち出し袋をもって、まずは避難所へ走った。</p> <p>■グラット来たら、まず身の安全を！ 揺れがおさまったら、状況を調べましょう。</p> <p>家の中は大丈夫ですか？ 家族の安否は大丈夫ですか？ ご近所どうして声を掛け合いましょう。あなたとあなたの家族の安全がまず第一。いっとき避難場所に行って、地域の状況を確認します。家が大丈夫であれば、家で様子をみましょう。</p> 
5	○	<p>災害時には、笛が必要だ。</p> <p>■どんな場合でも笛を携帯しておくようにしましょう。</p> <p>地震はいつ起きるか分かりません。状況によっては何かの下敷きになるかもしれません。あなたの居場所を知らせる命綱です。</p> 
6	✕	<p>3人家族のトイレ対策。</p> <p>簡易トイレパック（一人用）を10コ準備。 これで1週間は大丈夫！</p> <p>■一人一日 3～5回トイレに行きます。</p> <p>トイレパックによっては複数回使えるものもありますが、準備のためには一人5パック×3人×7日=105パックを考えておきましょう。</p> <p>排便と排尿をしっかり分けて行うことも大切です。使ったあとは、口をしっかりと閉じ、一般ごみとして回収されるまで保管します。保管しておく場所も考えておく必要がありますね。</p> 
7	✕	<p>NTTの災害用伝言板は117。家族の安否はこれで安心。</p> <p>■災害用伝言板は171。 https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/ 1（い）7（な）1（い）と覚えておきましょう。</p> <p>地震等の災害発生時に、被災地の方の安否を気遣う通話が増加し、被災地への通話がつながりにくい状況になった場合、171のサービスが開始されます。次の日程で体験利用ができるので、事前に練習をしておきましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1日、15日 00:00～24:00 ・正月三が日（1月1日 00:00～1月3日 24:00） ・防災週間（8月30日 9:00～9月5日 17:00） ・防災とボランティア週間（1月15日 9:00～1月21日 17:00）
8	✕	<p>スーパーで買い物中に大きな揺れ。</p> <p>商品棚にしっかりつかまって倒れないようにした。</p> <p>■スーパーなどの商品棚の缶詰やビンなど、落ちると危険なものがたくさんあります。緊急地震速報や防災メールなど警報が鳴ったらできるだけ商品棚から離れましょう。</p> <p>できたら買い物かごなどで頭を覆い、身を守りましょう。</p> 